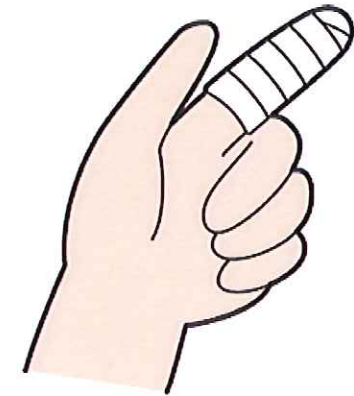


応急措置(6/10)

◎ケガの応急処置（切り傷）

- あわてないこと
- 出血部位を確認してその部位を強く圧迫
（清潔なガーゼやタオルで）
- 活動中は携帯用の救急用具（カットバン、
包帯、消毒液）を常備すること



応急措置(7/10)

◎ケガの応急処置（やけど）

A. 比較的小範囲のやけど

1. 流水（水道水）で局所を冷やす
（最低10分～15分間）
2. 医療機関で診察

B. 広範囲なやけど

1. 生命に関わるので、
至急、医療機関に搬送



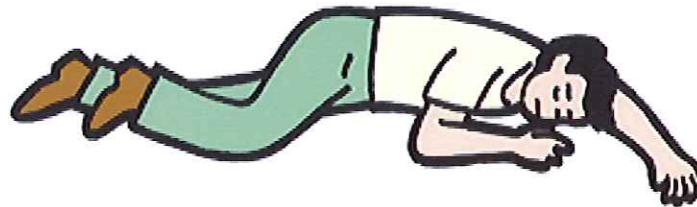
応急措置(8/10)

◎ケガの応急処置（頭部外傷）

意識がない場合

- ・ 気道を確保して楽に呼吸できるような体位をとらせる（回復体位）

C 回復体位



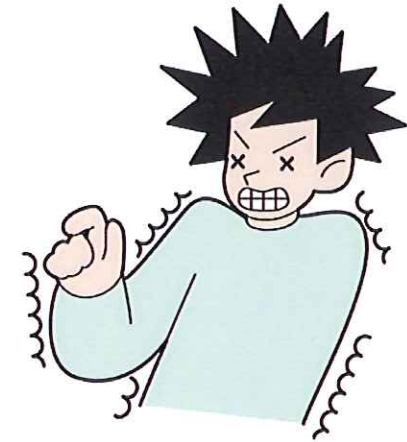
時間を経てから症状が出る場合も少なくないので、注意深く経過を追って状態を観察

応急措置(9/10)

◎ケガの応急処置（感電）

1. ただちにスイッチや電源を切る
2. 感電源から負傷者を引き離す

*救助者が感電する二次災害に十分注意する



応急措置(10/10)

ケガの応急処置（薬品）

- ・ 皮膚にかかった場合
大量の水で15分間以上洗い流す
- ・ 目に入った場合
多量の水で洗眼
- ・ 毒性のある薬品を誤飲・誤食
ノドに指を突っ込んで吐かせる

全て、応急処置後に
すみやかに専門医の
診察を受ける。



緊急シャワーの使用